

## 講演要旨

### 【講演 1】 「アルコール体質検査と飲酒の功罪」

人には体型や病気のかかりやすさや薬の効きやすさなど特有の体質があり、この個人差は DNA の一塩基多型 (SNP) により生じます。日本人には、独特なアルコール体質があり、飲酒に伴う表現型 (酔い、病気など) は千差万別です。演者は唾液で、お酒が強いか弱いかを簡便に判定できる遺伝子解析法を考案し、アルコール体質チェックを実施し、飲酒事故防止教育、飲酒のリスク予防 (乳がん) 等の啓発活動を行っています。アルコール体質チェックを体験できます。

### 【講演 2】 「下山順一郎と Friedrich Flückiger : 特別な出会い」

ドイツによるアルザス、ロレーヌ地方併合時代 (1870 年~1918 年)、スイス出身の薬剤師であり、ストラスブール大学の化学、生薬学の教授に任命された **Friedrich Flückiger** は、植物学と化学の最新の進歩を結びつける新しいアプローチにより医薬品の歴史に近代生薬学を創設した。下山順一郎は、東京大学薬学部を卒業後、**Flückiger** 教授の下でキニーネの最適な定量法開発の研究に取り組み、1886 年にもち米の澱粉に関する論文で博士号を取得した。本講演では彼らの研究を蘇らせ、交流の姿を明らかにしようと思う。